

施策	1101 環境の保全							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民、職員							
施策が目指す姿	自然環境の保全、衛生環境の改善、河川環境の整備・管理、ごみの不法投棄の防止等を進める。							
成果指標	ごみの不法投棄量 5年間(H25～29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25～29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)							
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 [ m3 ]	予定	49.00	87.00	85.00	82.00	80.00	
		実績	90.00	118.60	82.00	83.00		
	成果指標2 [ ]	予定	12,795.00	16,830.00	16,660.00	16,490.00	16,320.00	
		実績	17,671.00	24,930.00	21,166.00	21,959.00		
		単位コスト	107.69	73.53	80.53	91.55		
	成果指標3 [ ]	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 [ ]	予定						
		実績						
		単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	2,141,704	1,769,167	1,720,559	2,009,192			
	実績	1,903,069	1,833,097	1,704,463	2,010,403			
内 部 評 価	貢献度	本施策は公害対策や不法投棄、特にごみ収集運搬委託など、市民生活に直結するものであり大きく貢献すると考えられる。						
	達成状況	単位施策においては達成度がおおむね100となった。						
	課題	達成度が100になった事業についても、ごみ出しマナーの向上や野焼きの禁止など市民への更なる周知啓発が必要である。						
	取組方針	現状に合わせて目標値の設定や事業内容などを柔軟に対応しながら、環境の保全に取り組む。市民の環境保全事業の参加が増加するよう広報、ホームページ等で周知に努める。						
外 部 評 価	ごみの不法投棄量は、成果目標を達成できず、昨年よりも増加しているため、引き続き削減に向けて、不法投棄防止の看板や監視カメラの増設、警察及び企業との連携など、監視体制の強化を図るべきである。 子どもの頃から環境保全への意識を高めるため、ポスターや標語の募集、体験学習を実施すべきと考える。 公共施設にエネルギー使用状況モニターを設置することで、市民等への啓発推進を図りたい。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	150101	環境課一般経常事務費				3,944	100	
	150102	環境衛生事務費(大平)				1,710	100	
	150104	環境衛生事務費(都賀)				364	100	
	150105	環境衛生事務費(西方)				1,125	100	
	150401	エネルギー使用量管理業務委託費				2,614	100	
	152401	公害対策費				1,889	100	
	152402	公害対策費(大平)				3,750	100	
	152403	公害対策費(藤岡)				2,255	100	
	152404	公害対策費(都賀)				750	100	
	152405	公害対策費(西方)				1,125	100	



平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	1101 環境の保全		
区分	妥当性	妥当	環境の保全についての評価は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業の集約や見直しなどによりコスト削減の余地がある。
	受益者負担	適正	受益者負担はないため適正である。
	上位貢献度	有効	基本施策の成果指標達成には貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	ごみ収集等についての環境保全事業に類似の事業はない。
	成果向上の余地	有	今後適切に事業を行うことで、豊かな自然環境の保全の向上が見込まれる。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題		
	取組方針	不法投棄防止対策として、監視カメラの増設を検討する。	

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040103	予算事業コード	150101	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	環境課一般経常事務費										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 環境課 環境政策係					担当者	関口聡子					従					
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	45,000	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 環境審議会に関する事務 環境啓発に関する事務(親と子の水辺教室、出前講座等) 市民の生活環境の指導及び改善に関する事務 一般経常事務に関する事務 【主要事業(エコオフィス推進事業)】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 課内業務の円滑な執行と事務効率の改善を行い、温室効果ガスの排出を削減するとともに、市民の生活環境の保全及び改善を推進する。					
	成 果 目 標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)															

単位：千円、人		平成27年度決算額	平成28年度決算見込	事業の内容		事業の事後評価									
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成27年度			平成28年度							
	県支出金	0	0		【事業の内容】 環境意識の啓発や生活環境の保全及び改善を行う。エコオフィス推進実行計画H28~5年間の計画を策定した。 ・エコオフィス推進職員研修会の開催 ・温室効果ガス排出量調査 ・電気使用量監視システムの運用 ・クールシェア・ウォームシェア事業推進(節電) 【成果】 出前講座イベント参加者数 671人	【事業の内容】 環境意識の啓発や生活環境の保全及び改善を行う。 ・エコオフィス推進職員研修会の開催 ・温室効果ガス排出量調査 ・電気使用量監視システムの運用 ・クールシェア・ウォームシェア事業推進(節電) 【成果】 出前講座イベント参加者数 840人			事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	地方債	0	0			妥当	無	適正		有効	無	有			
	その他特財	1,382	1,364			指標名			算出方法			単位			
	一般財源	4,518	2,580			出前講座・イベント参加者数			出前講座・イベント参加者数 H28目標値 50人			人			
	事業費 a	5,900	3,944			市有施設温室効果ガス排出量			温室効果ガス排出量 [t-co2] H28目標値 24,681t-co2						
	人件費 b	6,750	0			総事業費 a+b+c			12,650			3,944			
減価償却費 c	0	0	結果指標 1			671.00			840.00						
		結果指標 2		17,000.00		28,769.00									

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 環境啓発事業(親と子の水辺教室や出前講座、イベントへの参加等)を積極的に行い、市民の環境意識の啓発に貢献した。平成29年度より啓発のための環境課主催イベントの検討を開始した。 平成28年度から5年間のエコオフィス推進実行計画を策定し温室効果ガス削減のための事業を実施、今後さらに推進した。					
	事後評価備考					

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155201	事業区分	02	行政的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	環境美化対策事業費（栃木）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 環境課 環境美化係						担当者	松沼 智史			従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	8,787	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する業務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・美化キャンペーンの実施(本庁) ・栃木県清掃事業連絡協議会に関する事務 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみのないきれいで住みよいまちづくりを目指す。					
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)															

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度			平成28年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果 <b>【事業内容】</b> 環境美化の推進に必要な施策を実施する。・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・環境美化キャンペーン (本庁実施H27岩舟地域) <b>【成果】</b> ・市民の苦情に対して適切に対応を行った。 ・市民の地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。			<b>【事業内容】</b> 環境美化の推進に必要な施策を実施する。・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・環境美化キャンペーン (本庁実施H27岩舟地域) <b>【成果】</b> ・市民の苦情に対して適切に対応を行った。 ・市民の地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。					
	県支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他特財	282	282									
	一般財源	162	72									
	事業費 a	444	354									
	人件費 b	3,000	3,750									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	3,444	4,104	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	57.00	57.00	環境美化に関する看板貸出枚数	栃木地域の環境美化に関する看板貸出枚数 H28目標値 60枚	枚		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	130.00	200.00	環境美化活動参加者数	美化キャンペーン等の参加者数 H28目標値 200人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進し、環境美化啓発を図りゴミのなくきれいで住みよいまちづくりを実施した。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155202	事業区分	02	行政的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策							
事業名	環境美化対策事業費（大平）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全						
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 大平市民生 生活環境交通係						担当者	小林正明				従									
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H15 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	8,539 千円					
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・その他地域の環境美化推進に関する事務 ・クリーン大平の実施(大平地域) <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 市民、事業者、所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみの無い美しいまちをつくる。									
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)																			

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成 27 年度				平成 28 年度					
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・クリーン大平の実施(大平地域) ・健康野菜作り(大平地域) <b>【成果】</b> ・市民の苦情に対して適切な対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。			事業の内容 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・クリーン大平の実施(大平地域) <b>【成果】</b> ・市民の苦情に対して適切な対応を行った ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。					
	県支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他特財	0	0									
	一般財源	480	557									
	事業費 a	480	557									
	人件費 b	3,000	2,250									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	3,480	2,807	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	5.00	8.00	環境美化活動に関する看板貸出枚数	大平地域の環境美化に関する看板貸出枚数 8枚	枚		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	7,168.00	5,800.00	美化活動参加者数	クリーン大平参加者数 5,800人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域清掃活動が引き続き活発に行われるよう啓発する。 今後ますます増加が見込まれる空き地の苦情に適切に対応する。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155203	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	環境美化対策事業費（藤岡）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全		
担当部署・担当者	生活環境部 藤岡市民生 生活環境交通係						担当者	田沼 秀男				従					
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H16 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	2,600 千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみのない美しいまちづくりを目指す。					
												成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)				

単位：千円、人		平成27年度決算額	平成28年度決算見込																					
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	平成 27 年度 <b>【事業の内容】</b> 環境美化の推進に必要な施策を実施する ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・渡良瀬遊水地クリーン作戦の実施(藤岡地域) H28より遊水地課へ <b>【成果】</b> 環境美化活動の推進が図られた。また、環境美化への意識向上が図られた。										平成 28 年度 <b>【事業の内容】</b> 環境美化の推進に必要な施策を実施する ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・ごみゼロ運動 <b>【成果】</b> ・市民の苦情に対して適切に対応を行った。 ・市民が地域清掃活動に参加し環境美化への意識高まった。									
	県支出金		0	0																				
	地方債		0	0																				
	その他特財		0	0																				
	一般財源		251	160																				
	事業費 a		251	160																				
	人件費 b		1,875	3,000																				
減価償却費 c		0	0																					
総事業費 a+b+c		2,126	3,160																					
結果指標 1		42.00	40.00	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地									
結果指標 2			4,900.00	環境美化に関する看板貸出枚数	藤岡地域の環境美化に関する看板枚数 H28目標値 40枚			枚								妥当	無	適正	有効	無	有			
(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域清掃活動等について、クリーンプラザへの運搬等の支援を積極的に行う。																								
事後評価備考																								

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155204	事業区分	02	行政的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	環境美化対策事業費（都賀）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 都賀市民生 生活環境交通係					担当者	鈴木 健司			従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等				事業期間	H18 ~ H33 年度			全体事業費 (人件費除)	2,509		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・その他地域の環境美化推進に関する事務 ・ごみゼロの日清掃活動の実施 <b>【主要事業】</b>						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみの無い美しいまちづくりをめざす。								

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	達成目標		成果 策 目 標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成27年度		平成28年度					
	県支出金	0	0		環境美化の推進に必要な施策を実施		環境美化の推進に必要な施策を実施					
	地方債	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>美化啓発用看板貸出</li> <li>地域清掃活動への支援</li> <li>空き地の苦情相談</li> <li>ごみゼロの日清掃活動(都賀地域)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>美化啓発用看板貸出</li> <li>地域清掃活動への支援</li> <li>空き地の苦情相談</li> <li>ごみゼロの日清掃活動(都賀地域)</li> </ul>					
	その他特財	0	0				【成果】					
	一般財源	57	75				<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の苦情に対し適切な対応を行った。</li> <li>市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。</li> </ul>					
	事業費 a	57	75									
	人件費 b	750	750									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	807	825	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	11.00	10.00	環境美化に関する看板貸出枚数	H28目標値 10枚	枚	妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2	2,000.00	1,874.00	美化活動参加者数	H28目標値 1,800人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 環境美化に関する看板等を作成し、それを貸し出すことにより、環境美化に関する意識の向上を図った。 美化キャンペーン等を行い、環境美化意識を向上させた。											
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155205	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策							
事業名	環境美化対策事業費（西方）										主	1101	豊かな自然環境の保全	環境の保全							
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 西方市民生 生活環境交通係					担当者	菅沼 淳		従												
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	1,308	千円				
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みやすいまちにする条例の運用に関する業務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・その他地域の環境美化推進に関する事務 ・「美しいまちづくりの日」一斉活動の実施(西方地域) <b>【主要事業】</b>								達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみのない美しいまちづくりを目指す。											
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)																			
単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込		事業の内容								平成27年度				平成28年度					
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	<b>【事業の内容】</b> ・環境美化活動(美化啓発用看板貸出、地域清掃活動への支援、空き地の苦情相談、「美しいまちづくりの日」一斉清掃)の推進に必要な施策を実施する。 <b>【成果】</b> ・市民の苦情に対して適切に対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。								<b>【事業の内容】</b> 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・美しいまちづくりの日(一斉清掃) <b>【成果】</b> ・市民の苦情に対して適切に対応を行った。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。							
	県支出金		0	0																	
	地方債		0	0																	
	その他特財		0	0																	
	一般財源		69	87																	
	事業費 a		69	87																	
	人件費 b		1,875	1,875																	
減価償却費 c		0	0																		
総事業費 a+b+c		1,944	1,962	指標名		算出方法		単位	事業の事後評価												
結果指標 1		15.00	1.00	環境美化に関する看板貸出枚数	西方地域の環境美化に関する看板貸出枚数 15枚(H28目標値 15枚)		枚	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地								
結果指標 2		2,000.00	2,200.00	環境美化活動参加者数	美しいまちづくりの日(一斉清掃)参加人数 2,000人(H28目標値 2,000人)		人	妥当	無	適正	有効	無	無								
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 「美しいまちづくりの日」一斉清掃の実施(年2回(6月、11月))及び美化キャンペーン等を行い、環境美化意識を向上させる。 また、環境美化に関する看板等を作成し、それを貸し出すことにより、環境美化に関する意識の向上を図る。																				
事後評価備考																					

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155206	事業区分	02	行政的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	環境美化対策事業費（岩舟）										主	1101	豊かな自然環境の保全			環境の保全		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 岩舟市民生 生活環境交通係						担当者	篠崎 雅一			従	1101	豊かな自然環境の保全			環境の保全		
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H 2 6 ~ H 3 3 年度			全体事業費 (人件費除)	787 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・美化キャンペーンの実施(岩舟地域) <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 市民、事業者、所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみの無い美しいまちをつくる。						
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)																
単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込		平成27年度						平成28年度								
事業費・指標の推移	国庫支出金	0		【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・美化キャンペーンの実施(岩舟地域) ・健康野菜作り講座(岩舟地域) 【成果】 ・市民の苦情に対して適切な対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。						【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・美化キャンペーンの実施(岩舟地域) 【成果】 ・市民の苦情に対して適切な対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。								
	県支出金	0																
	地方債	0																
	その他特財	0																
	一般財源	278		83														
	事業費 a	278		83														
	人件費 b	2,250		4,500														
減価償却費 c	0		0															
総事業費 a+b+c	2,528		4,583		指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1	12.00		6.00		環境美化に関する看板貸出枚数	岩舟地域の環境美化に関する看板貸出枚数 H 2 8 目標値 8 枚			枚		妥当	無	適正	有効	無	有		
結果指標 2	4,526.00		5,100.00		環境美化活動参加者数	美化キャンペーン等の参加者数 H 2 8 目標値 4,000人			人									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・地域清掃活動が引き続き活発に行われるよう啓発・支援する。 ・今後ますます増加が見込まれる空き地の苦情に適切に対応する。																	
事後評価備考																		

# 事 様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 2 8 年度

会計	一般	款項目	040103	予算事業コード	156901	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	地域クリーン推進員事業費										主	1101	豊かな自然環境の保全	環境の保全			
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 環境課 環境美化係						担当者	松沼 智史			従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H 2 5 ~ H 3 3 年度		全体事業費 (人件費除)	38,230	千円

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 地域クリーン推進員に関する事務【主要事業】 【地域クリーン推進員の役割】 (1) 地域における環境美化活動の推進に関する事。 (2) ごみ集積場の設置及び管理に関する事。 (3) ごみ等の減量並びに正しい分別及び排出の普及に関する事。 (4) 不法投棄の予防及び通報に関する事。										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・市が行う公衆衛生に関する事務の連絡や活動に関する協力 ・公衆衛生に関する地区活動の推進				
	成果策目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)														

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成 2 7 年度				平成 2 8 年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 地域クリーン推進員に関する事務を行う。 【成果】 地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。			【事業の内容】 地域クリーン推進員に関する事務を行う。 【成果】 地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。						
	県支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他特財	0	0										
	一般財源	8,301	8,304										
	事業費 a	8,301	8,304										
	人件費 b	1,744	3,000										
減価償却費 c	0	0											
総事業費 a+b+c	10,045	11,304	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	20,842.00	17,949.00	市民の美化活動参加者数	毎年度地域クリーン推進員から報告される活動参加者数 H28目標値 32,000人		人		妥当	無	適正	有効	無	無
結果指標 2	474.00	473.00	地域クリーン推進員委嘱人数	地域クリーン推進員委嘱人数 H28目標値 473人		人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 市が行う公衆衛生に関する地域活動の推進を地域クリーン推進員の協力のもと、実施した。													
--------	-----------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040103	予算事業コード	156902	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策																																								
事業名	地域クリーン推進員事業費(大平)										主	1101	豊かな自然環境の保全			環境の保全																																							
担当部署・担当チーム名	生活環境部 大平市民生 生活環境交通係						担当者	小林正明				従																																											
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H25 ~ H33 年度			全体事業費 (人件費除)	38,230		千円																																				
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 地域クリーン推進員に関する事務。【主要事業】 【地域クリーン推進員の役割】 ・地域の生活環境に関すること(ごみ分別排出の啓発・指導、ごみステーションの設置申請、不法投棄の通報等)										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・市が行う公衆衛生に関する事務の連絡や活動に関する協力 ・公衆衛生に関する地区活動の推進																																											
	単位:千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込											成果策目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)																																								
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	<table border="1"> <tr> <td colspan="10">平成27年度</td> <td colspan="10">平成28年度</td> </tr> <tr> <td colspan="10">【事業の内容】 地域クリーン推進員に関する事務を行う。 【成果】 ・地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。</td> <td colspan="10">【事業の内容】 ・地域クリーン推進員に関する事務を行う。 【成果】 ・地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。</td> </tr> </table>										平成27年度										平成28年度										【事業の内容】 地域クリーン推進員に関する事務を行う。 【成果】 ・地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。										【事業の内容】 ・地域クリーン推進員に関する事務を行う。 【成果】 ・地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。										事業の内容 その成果
	平成27年度														平成28年度																																								
	【事業の内容】 地域クリーン推進員に関する事務を行う。 【成果】 ・地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。														【事業の内容】 ・地域クリーン推進員に関する事務を行う。 【成果】 ・地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。																																								
	県支出金		0	0																																																			
	地方債		0	0																																																			
	その他特財		0	0																																																			
	一般財源		0	0																																																			
事業費 a		0	0																																																				
人件費 b		2,250	1,500																																																				
減価償却費 c		0	0																																																				
総事業費 a+b+c		2,250	1,500																																																				
結果指標 1		5,525.00	5,800.00	指標名	市民の美化活動参加者数					算出方法	毎年度地域クリーン推進員から報告される活動参加者数 5,800人					単位	人	事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有																									
結果指標 2		46.00	46.00	地域クリーン推進員委嘱人数	地域クリーン推進員委嘱人数 46人					単位	人																																												
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 市が行う公衆衛生に関する事務の連絡や活動に関する協力 ・公衆衛生に関する地区活動の推進																																																						
事後評価備考																																																							

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040103	予算事業コード	156903	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	地域クリーン推進員事業費（藤岡）										主	1101	豊かな自然環境の保全	環境の保全		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 藤岡市民生 生活環境交通係					担当者	田沼 秀男		従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H25 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 地域クリーン推進員に関する事務【主要事業】 【地域クリーン推進員の役割】 ・地域の生活環境に関すること(ごみ分別排出の啓発・指導、ごみステーションの設置申請、不法投棄の通報等)								達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・市が行う公衆衛生に関する事務の連絡や活動に関する協力 ・公衆衛生に関する地区活動の推進						
	成果 策目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)														

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度				平成28年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	【事業の内容】 地域クリーン推進員に関する事務を行う				【事業の内容】 地域クリーン推進員に関する事務を行う						
	県支出金	0	【成果】 地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動や、ごみステーションの設置が効果的に実施された				【成果】 地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動や、ごみステーションの設置が効果的に実施された						
	地方債	0	事業の内容 その成果										
	その他特財	0											
	一般財源	0											
	事業費 a	0											
	人件費 b	375											750
減価償却費 c	0	0											
総事業費 a+b+c	375	750	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	5,400.00	4,900.00	市民の美化活動参加者数	市民の美化活動参加者数 H28目標値 5,400人		人/年							
結果指標 2		102.00	地域クリーン推進員委嘱人数	地域クリーン推進員委嘱人数 H28目標値 102人		人							
妥当	無	適正	有効	無	無								

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・地域クリーン推進員が行なう生活環境活動の支援を積極的に行なう。													
--------	--------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040103	予算事業コード	156904	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	地域クリーン推進員事業費（都賀）										主	1101	豊かな自然環境の保全	環境の保全		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 都賀市民生 生活環境交通係					担当者	鈴木 健司			従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例							事業期間	H25 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	0	千円

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 地域クリーン推進員に関する事務【主要事業】 【地域クリーン推進員の役割】 ・地域の生活環境に関すること(ごみ分別排出の啓発・指導、ごみステーションの新設申請、不法投棄の通報等)										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・市が行う公衆衛生に関する事務の連絡や活動に関する協力 ・公衆衛生に関する徳活動の推進				
											成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)				

単位：千円、人		平成27年度決算額	平成28年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金			事業の内容 その成果	平成27年度						平成28年度					
	県支出金				【事業の内容】 地域クリーン推進員に関する事務を行う。						【事業の内容】 地域クリーン推進員に関する事務を行う。					
	地方債				【成果】 ・地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。						【成果】 ・地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。					
	その他特財															
	一般財源		0													
	事業費 a		0													
	人件費 b		750		750											
減価償却費 c		0	0													
総事業費 a+b+c		750	750	指標名		算出方法		単位	事業の事後評価							
結果指標 1		2,000.00	1,874.00	市民の美化活動参加者数		H28目標値 2,000人		人	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 2		32.00	32.00	地域クリーン推進員委嘱人数		H28目標値 32人		人	妥当	有	適正	有効	無	無		

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域クリーン推進員の協力のもと、地域の環境美化を推進する。														
--------	-----------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040103	予算事業コード	156905	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	地域クリーン推進員事業費（西方）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 西方市民生 生活環境交通係						担当者	菅沼 淳				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H25 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	0 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういふ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 地域クリーン推進員に関する事務【主要事業】 【地域クリーン推進員の役割】 ・地域の生活環境に関すること(ごみ分別排出の啓発・指導、ごみステーションの設置申請、不法投棄の通報等)										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・市が行う公衆衛生に関する事務の連絡や活動に関する協力 ・公衆衛生に関する地区活動の推進					
	単位：千円、人										成果 策目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)					

事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成27年度			平成28年度						
	県支出金		0	0		【事業の内容】 ・地域クリーン推進員に関する事務を行う。 【成果】 ・自治会長と推進員が協力し、一斉清掃(6、11月)を実施した。 ・上記を含め、地域クリーン推進員との連携により地域の清掃活動やごみステーションの管理が効果的に実施された。	【事業の内容】 ・地域クリーン推進員に関する事務を行う。 【成果】 ・地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。								
	地方債		0	0											
	その他特財		0	0											
	一般財源		0	0											
	事業費 a		0	0											
	人件費 b		1,500	1,500											
減価償却費 c		0	0												
総事業費 a+b+c		1,500	1,500	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		1,000.00	2,200.00	市民の美化活動参加者数	美化活動参加者数 1,000人 (H28目標値 参加者1,000人)			人							
結果指標 2		39.00	39.00	地域クリーン推進員委嘱人数	39人 (H28目標値 委嘱39人)			人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域クリーン推進員の協力のもと、地域の美化活動を推進する。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計		款項目		予算事業コード	156906	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	1	新規		基本施策		単位施策			
事業名	地域クリーン推進員事業費(岩舟)											主	1101	豊かな自然環境の保全	環境の保全			
担当部署・担当チーム名	生活環境部 岩舟市民生 生活環境交通係						担当者	篠崎 雅一				従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H27 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	0	千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 地域クリーン推進員に関する事務。【主要事業】 ・【地域クリーン推進員の役割】 ・地域の生活環境に関すること(ごみ分別排出の啓発・指導、ごみステーションの設置申請、不法投棄の通報等)											達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・市が行う公衆衛生に関する事務の連絡や活動に関する協力 ・公衆衛生に関する地区活動の推進					
	単位:千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	成果 施策 目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)													
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	事業の内容 その成果	平成27年度							平成28年度						
	県支出金		0		【事業の内容】 ・地域クリーン推進に関する事務を行う。							【事業の内容】 ・地域クリーン推進に関する事務を行う。						
	地方債		0		【成果】 ・地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。							【成果】 ・地域クリーン推進員との連携が図られ、地域の清掃活動やごみステーションの設置が効果的に実施された。						
	その他特財		0															
	一般財源		0															
	事業費 a		0															
	人件費 b		2,250		1,500													
減価償却費 c																		
総事業費 a+b+c		2,250	1,500	指標名	算出方法					単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1			4,374.00	市民の美化活動参加者数	毎年度地域クリーン推進員から報告される活動参加者 H28目標値 5,000人					人								
結果指標 2			82.00	地域クリーン推進員委嘱人数	地域クリーン推進員委嘱人数 H28目標値 82人					人								
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)																	
事後評価備考																		